

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「60%」

「忙しい」という漢字は、心を亡くすと書きますが、つい、口走ってしまうことは多々あります。「忙しい」を前向きにとらえられるときというのは、何かとうれしいことがあるように思います。例えば、お客様がお客様を紹介してくれたり、ご無沙汰していたお客様に声をかけていただいたり…。不思議に思いながらも、そんなうれしい経験はありませんか？反対に「忙しい」を否定的にとらえていると、何からやっつていいのかわからない、もうギブアップだ、そんな思いが強くなり、仕事がただ消化試合のようになってしまふ…そんな経験もあると思います。仕事をしていると、いろいろなことがあります。どうしたら、前者のように前向きに「忙しい」をとらえられるのか考えてみました。

あるスポーツ選手がインタビューでこんなことを言っていました。「練習でやったことを100%だせば絶対勝てるというが、そう思っているとプレッシャーがかかって、逆に悪い結果になる。まずは60%をだせるように考えるんだ。」

仕事でも、100%やろうとすると細かい部分まで考えておかなければいけないので時間もかかり、自分が追いつめられてしまいます。まずは、60%程度をバツとやり、そこから残りをやっつけていけばいいと考え気持ちに余裕をもたせて仕事にはいると、効率も上がり結果的によい方向に向かうといえます。もちろん、仕事の内容にもよりますが、「気持ちに余裕」を持たせる、という部分では的を得ているな…と感じました。

この60%という数字を参考にしようと思います。半分以上はすぐに行う、半分以上は力を出し切る。時間が無く、いろいろなプレッシャーの中でも60%ならやり切れるような気がします。残りの仕事をうまく気持ちを切り替えて取組めるようにすれば、

スムーズな良い流れになり、結果もついてくるのではないのでしょうか。私の以前の上司ですが、「お忙しいところすみません」と挨拶して来社するといつも「全然、平気だよ」という人がいます。その社内を見渡すと、とても平気そうにはそうは見えません。資料は散らばり、電話も多く、忙しいのが目に見えてわかります。が、いつも焦ることなく、本心は知りませんが「忙しさをみせずに売上げを順調に上げている会社です。何度会っても、誰に聞いても、よくわからない不思議な人なのですが、仕事の段取りや周囲の人を巻き込んでしまうのがうまい人なのだと思います。

忙しいのは能力が低いから、という人もいますが、すべてがそうではないと思います。忙しい中だからこそ、様々なことを考えて、自分で仕事を作りだしている人がいます。それは効率を上げるためだったり、お客様にもっと満足してもらったためだったり、周りのスタッフが仕事をしやすい環境を考えたり…。忙しい方はより一層忙しくなってしまうようですが、あまり表だって忙しくしている人には少々引いてしまいます。まさに、「心を亡く」しているな…と。

60%の力を出し切る。そして最終的には120%の仕事をやってお客様の役に立つ、これがひとつの仕事のゴールだと思います。

ご案内

スマホ対応ホームページ制作

ラップ東京へ



しつこい営業や勧誘はしません。

お客様と一緒に考え共にステップアップしていくことを目標としている会社です。

お気軽にお問合せください。

Tel:042-349-3535 担当：田島

■ラップニュース読者の皆様へ。
ラップニュース バックナンバーは
ホームページからご覧いただけます。

<http://www.raptokyo.co.jp/>

※アンケートがありますのでよろしかったら、
ご意見をお聞かせください。

ラップニュースを
送って欲しい人がいる…

そんなときはご連絡ください。
当社から送らせていただきます。

TEL:042-349-3535

